



2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年11月8日

上場会社名 株式会社 F U J I 上場取引所 東 名
 コード番号 6134 URL <https://www.fuji.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 曾我 信之
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経営管理部部長 (氏名) 加納 淳一 TEL 0566-81-2111
 兼経理部部長
 四半期報告書提出予定日 2021年11月9日 配当支払開始予定日 2021年12月6日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有 (新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から代表取締役社長による決算説明動画を配信いたします。)

(百万円未満切捨)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績 (2021年4月1日～2021年9月30日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	72,558	2.7	14,762	29.4	15,241	25.8	11,165	28.6
2021年3月期第2四半期	70,654	△2.2	11,412	1.6	12,118	6.8	8,681	△0.0

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 11,315百万円 (△3.7%) 2021年3月期第2四半期 11,748百万円 (70.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	115.77	—
2021年3月期第2四半期	95.05	90.00

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	235,778	202,817	86.0
2021年3月期	224,671	194,556	86.5

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 202,690百万円 2021年3月期 194,256百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	20.00	—	30.00	50.00
2022年3月期	—	35.00	—	—	—
2022年3月期 (予想)	—	—	—	35.00	70.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：有
 配当予想の修正につきましては、本日公表の「業績予想の修正、剰余金の配当（中間配当）及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2022年3月期の連結業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	151,000	10.9	30,200	37.9	30,800	32.6	22,600	31.6	234.35

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：有
 連結業績予想の修正につきましては、本日公表の「業績予想の修正、剰余金の配当（中間配当）及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料の8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期2Q	97,823,748株	2021年3月期	97,823,748株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	1,377,619株	2021年3月期	1,390,652株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期2Q	96,438,797株	2021年3月期2Q	91,344,589株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、本日公表の「業績予想の修正、剰余金の配当(中間配当)及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料につきましては、2021年11月8日に当社ウェブサイトに掲載いたします。また、本四半期決算に関する説明動画を当社ウェブサイトにて配信いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9
3. その他	11
(1) 受注及び販売の状況	11
(2) 顧客との契約から生じる収益を分解した情報	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出の増加を背景として、新型コロナウイルス感染拡大の影響により下押しされてきた景気の回復傾向が続きました。また、製造業では企業業績の改善に伴い設備投資再開の動きが見られました。世界経済においても、新型コロナウイルス感染拡大による活動制限が緩和されたことにより景気の回復が持続し、製造業の設備投資は堅調に推移しました。

このような環境のなかで、当グループは、『お客様に感動を！』のコーポレートスローガンのもと、ロボット技術を軸に時代を捉え未来を切り拓いていくことを成長戦略の基本とし、変革にチャレンジしてまいりました。来たるべき未来を見据えた魅力ある製品の開発に取り組み、主力の電子部品実装ロボットの分野ではハイエンドモデル「NXTR」、工作機械の分野ではロボット付き複合加工機「GYROFLEX T4000（呼称 ジャイロフレックス）」の市場投入を推し進めてまいりました。また、ものづくりの効率化や原価改善に努めるとともに、ニューノーマル時代を踏まえたDXを積極的に取り入れることでペーパーレス化やWEB会議、テレワークの推進をはじめとする業務改革により固定費の一層の削減などに取り組み、収益性の向上を目指してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は72,558百万円となり、前第2四半期連結累計期間と比べて1,904百万円（2.7%）増加しました。営業利益は14,762百万円と、前第2四半期連結累計期間に比べて3,350百万円（29.4%）増加し、経常利益は15,241百万円と、前第2四半期連結累計期間に比べて3,122百万円（25.8%）増加しました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は前第2四半期連結累計期間と比べて2,483百万円（28.6%）増加し、11,165百万円となりました。

なお、当社は、2021年7月12日付で、双日株式会社の子会社であるフジ マシン アジア プライベート リミテッド（以下「FMA」といいます。）の発行済み株式の全てを取得し、完全子会社としました。（FMAにつきましては、当第2四半期は貸借対照表のみを連結しており、第3四半期より損益計算書も連結いたします。）

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

ロボットソリューション

中国を中心とする電子部品製造・半導体関連向け設備需要の増加に加え、欧米における自動車や産業機器向け設備の復調により、堅調に推移しました。この結果、売上高は67,891百万円となり、前第2四半期連結累計期間と比べて2,496百万円（3.8%）増加しました。また、営業利益は16,551百万円となり、前第2四半期連結累計期間と比べて3,082百万円（22.9%）増加しました。

マシンツール

北米および中国では設備投資に若干の回復が見られたものの、日本国内市場においては、まだまだ慎重な姿勢が続きました。この結果、売上高は3,578百万円となり、前第2四半期連結累計期間と比べて247百万円（6.5%）減少し、営業損益は299百万円の損失（前年同四半期：営業損失631百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間においてFMAの貸借対照表を連結したことに伴い、資産・負債が増加しております。
(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は151,763百万円となり、前連結会計年度末から7,903百万円増加しました。これは主に、棚卸資産が8,640百万円増加した一方、現金及び預金が1,053百万円減少したことによるものであります。固定資産は84,014百万円となり、前連結会計年度末から3,203百万円増加しました。これは主に、FMAの株式取得などによりおのれんが1,329百万円、岡崎工場一部建屋の建替および立体駐車場増築工事などにより建設仮勘定が918百万円、株価上昇などにより投資有価証券が301百万円増加したことによるものです。(なお、おのれの金額は、当第2四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算出された金額であります。)

この結果、資産合計は、235,778百万円となり、前連結会計年度末から11,107百万円増加しました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は29,841百万円となり、前連結会計年度末から2,561百万円増加しました。これは主に前受金(流動負債のその他に含みます)が2,115百万円増加したことによるものであります。固定負債は3,118百万円となり、前連結会計年度末から284百万円増加しました。これは主に繰延税金負債(固定負債のその他に含みます)が179百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、32,960百万円となり、前連結会計年度末から2,846百万円増加しました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は202,817百万円となり、前連結会計年度末から8,261百万円増加しました。これは主に配当金の支払により利益剰余金が2,892百万円減少した一方、親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が11,165百万円増加したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末と比べ1,072百万円減少し59,316百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは6,976百万円の収入(前年同四半期:17,332百万円の収入)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益や減価償却費などのプラス要因が、棚卸資産の増加や法人税等の支払額などのマイナス要因を上回ったことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは5,144百万円の支出(前年同四半期:5,375百万円の支出)となりました。これは主に、有形及び無形固定資産の取得による支出や連結の範囲の変更を伴う子会社(FMA)株式の取得などによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは3,104百万円の支出(前年同四半期:2,739百万円の支出)となりました。これは主に配当金の支払額によるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の連結業績予想につきましては、2021年8月6日に公表いたしました連結業績予想から変更しております。

詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正、剰余金の配当(中間配当)及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	60,278	59,224
受取手形及び売掛金	36,374	39,130
有価証券	1,757	1,700
商品及び製品	9,996	11,183
仕掛品	20,804	25,627
原材料及び貯蔵品	7,364	9,996
その他	7,369	4,987
貸倒引当金	△86	△86
流動資産合計	143,859	151,763
固定資産		
有形固定資産	24,342	25,650
無形固定資産		
のれん	11,893	13,222
その他	12,958	13,005
無形固定資産合計	24,851	26,228
投資その他の資産		
投資有価証券	28,509	28,811
退職給付に係る資産	1,890	2,096
その他	1,217	1,228
投資その他の資産合計	31,618	32,135
固定資産合計	80,811	84,014
資産合計	224,671	235,778
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,025	11,133
未払法人税等	4,861	3,866
製品保証引当金	955	863
その他	10,438	13,978
流動負債合計	27,279	29,841
固定負債		
退職給付に係る負債	254	304
その他	2,580	2,814
固定負債合計	2,834	3,118
負債合計	30,114	32,960
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,878	5,878
資本剰余金	7,034	7,077
利益剰余金	170,381	178,653
自己株式	△1,670	△1,656
株主資本合計	181,624	189,953
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,779	10,036
繰延ヘッジ損益	42	19
為替換算調整勘定	2,066	2,309
退職給付に係る調整累計額	742	371
その他の包括利益累計額合計	12,631	12,737
非支配株主持分	300	126
純資産合計	194,556	202,817
負債純資産合計	224,671	235,778

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上高	70,654	72,558
売上原価	45,303	43,384
売上総利益	25,350	29,173
販売費及び一般管理費	13,938	14,410
営業利益	11,412	14,762
営業外収益		
受取利息	51	42
受取配当金	575	344
為替差益	—	87
雑収入	175	58
営業外収益合計	802	532
営業外費用		
支払利息	△0	1
支払手数料	3	47
為替差損	87	—
雑支出	7	5
営業外費用合計	96	53
経常利益	12,118	15,241
特別利益		
固定資産処分益	23	17
投資有価証券売却益	63	82
段階取得に係る差益	—	395
特別利益合計	87	494
特別損失		
固定資産処分損	50	45
投資有価証券売却損	—	27
投資有価証券評価損	38	—
特別損失合計	88	72
税金等調整前四半期純利益	12,117	15,663
法人税、住民税及び事業税	3,318	4,183
法人税等調整額	103	295
法人税等合計	3,421	4,479
四半期純利益	8,695	11,184
非支配株主に帰属する四半期純利益	13	19
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,681	11,165

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	8,695	11,184
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,298	257
繰延ヘッジ損益	△16	△23
為替換算調整勘定	△412	269
退職給付に係る調整額	184	△371
その他の包括利益合計	3,053	131
四半期包括利益	11,748	11,315
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,797	11,270
非支配株主に係る四半期包括利益	△48	45

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	12,117	15,663
減価償却費	3,476	3,629
のれん償却額	475	475
退職給付に係る資産負債の増減額	△225	△717
受取利息及び受取配当金	△627	△386
支払利息	△0	1
固定資産処分損益 (△は益)	26	27
投資有価証券売却損益 (△は益)	△63	△55
投資有価証券評価損益 (△は益)	38	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,766	△377
棚卸資産の増減額 (△は増加)	3,761	△6,571
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,124	△3,342
未収消費税等の増減額 (△は増加)	2,836	2,460
その他	658	1,022
小計	18,582	11,830
利息及び配当金の受取額	627	387
利息の支払額	△2	△1
保険金の受取額	18	—
法人税等の支払額	△1,893	△5,239
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,332	6,976
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△2,299	—
有価証券の償還による収入	999	100
有形及び無形固定資産の取得による支出	△4,320	△3,945
有形及び無形固定資産の売却による収入	37	52
投資有価証券の取得による支出	—	△175
投資有価証券の売却による収入	170	152
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△1,348
定期預金の預入による支出	△33	△33
定期預金の払戻による収入	87	72
その他	△16	△18
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,375	△5,144
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△2,730	△2,896
連結の範囲の変更を伴わない子会社出資金の取得による支出	—	△195
その他	△9	△12
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,739	△3,104
現金及び現金同等物に係る換算差額	△202	200
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	9,015	△1,072
現金及び現金同等物の期首残高	43,907	60,388
現金及び現金同等物の四半期末残高	52,923	59,316

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

(特定子会社以外の子会社の異動)

当第2四半期連結会計期間において、双日株式会社の子会社であるフジ マシン アジア プライベート リミテッドの発行済み株式の全てを取得し、完全子会社としたため、同社及びその子会社4社を連結の範囲に含めております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取る見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これによる主な変更点は、輸出版売において、従来は船積時点で収益を認識しておりましたが、インコタームズで定められた貿易条件に基づき危険負担が顧客に移転した時点で収益を認識する方法としたことです。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。

当該会計方針の変更による影響は軽微です。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。

当該会計方針の変更による影響はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、当グループの各拠点においては感染拡大リスク低減のための対応を実施した上で事業活動を継続しております。新型コロナウイルス感染拡大を契機とするテレワークの普及などを受け、サーバー・ネットワーク等のインフラ、パソコン、スマートフォン、さらにはこれらを支える半導体関連分野における設備投資が見込まれます。一方で、新型コロナウイルス感染症は世界的な広がりを見せ、経済への影響が顕在化しております。現時点では世界経済への影響がしばらく続くことを想定して、業績予想及び会計上の見積りを行っておりますが、不確実性がさらに高まった場合には、将来における実績値に基づく結果がこれらの見積り及び仮定とは異なる可能性があります。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ロボット ソリューション	マシンツール	計		
売上高					
外部顧客への売上高	65,395	3,825	69,220	1,433	70,654
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	—	1	98	100
計	65,396	3,825	69,222	1,532	70,754
セグメント利益又は損失(△)	13,468	△631	12,837	1	12,838

(注) その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、制御機器製造、電子機器製造及び画像処理開発等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	12,837
その他の区分の利益又は損失(△)	1
セグメント間取引消去	4
全社費用(注)	△1,430
四半期連結損益計算書の営業利益	11,412

(注) 全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ロボット ソリューション	マシンツール	計		
売上高					
外部顧客への売上高	67,891	3,578	71,469	1,088	72,558
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4	—	4	112	116
計	67,896	3,578	71,474	1,200	72,675
セグメント利益又は損失(△)	16,551	△299	16,252	△16	16,235

(注) その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、制御機器製造、電子機器製造及び画像処理開発等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	16,252
その他の区分の利益又は損失(△)	△16
セグメント間取引消去	4
全社費用(注)	△1,477
四半期連結損益計算書の営業利益	14,762

(注) 全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. その他

(1) 受注及び販売の状況

前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

セグメントの名称	受注高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	受注残高 (百万円)	構成比 (%)
ロボットソリューション	55,617	93.8	65,395	92.6	16,727	80.4
マシンツール	2,137	3.6	3,825	5.4	3,645	17.5
報告セグメント計	57,755	97.4	69,220	98.0	20,372	97.9
その他	1,557	2.6	1,433	2.0	437	2.1
合計	59,312	100.0	70,654	100.0	20,809	100.0

当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

セグメントの名称	受注高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	受注残高 (百万円)	構成比 (%)
ロボットソリューション	72,844	91.7	67,891	93.6	※49,241	89.3
マシンツール	4,995	6.3	3,578	4.9	5,103	9.3
報告セグメント計	77,839	98.0	71,469	98.5	※54,344	98.6
その他	1,624	2.0	1,088	1.5	796	1.4
合計	79,464	100.0	72,558	100.0	※55,140	100.0

(※) 当第2四半期連結会計期間より連結子会社としたフジ マシン アジア プライベート リミテッドの連結開始時の受注残高を含めております。

前連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

セグメントの名称	受注高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	受注残高 (百万円)	構成比 (%)
ロボットソリューション	141,129	94.1	125,569	92.2	42,064	91.4
マシンツール	6,219	4.1	7,866	5.8	3,686	8.0
報告セグメント計	147,349	98.2	133,436	98.0	45,750	99.4
その他	2,672	1.8	2,725	2.0	260	0.6
合計	150,021	100.0	136,161	100.0	46,010	100.0

(2) 顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位: 百万円)

セグメントの名称	日本	中国	他アジア	米国	他北米	ヨーロッパ	その他	合計
ロボットソリューション	3,487	37,875	16,665	2,872	483	3,616	394	65,395
マシンツール	2,204	513	147	472	207	274	3	3,825
報告セグメント計	5,692	38,389	16,813	3,345	691	3,891	397	69,220
その他	1,431	—	1	—	—	—	—	1,433
合計	7,123	38,389	16,814	3,345	691	3,891	397	70,654
構成比(%)	10.1	54.3	23.8	4.7	1.0	5.5	0.6	100.0

当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位: 百万円)

セグメントの名称	日本	中国	他アジア	米国	他北米	ヨーロッパ	その他	合計
ロボットソリューション	3,509	35,202	12,283	6,365	2,139	7,566	824	67,891
マシンツール	1,409	772	359	636	339	55	5	3,578
報告セグメント計	4,918	35,975	12,642	7,001	2,479	7,621	829	71,469
その他	1,084	—	4	—	—	—	—	1,088
合計	6,003	35,975	12,647	7,001	2,479	7,621	829	72,558
構成比(%)	8.3	49.6	17.4	9.7	3.4	10.5	1.1	100.0

前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位: 百万円)

セグメントの名称	日本	中国	他アジア	米国	他北米	ヨーロッパ	その他	合計
ロボットソリューション	7,366	70,519	29,894	5,674	1,117	9,415	1,582	125,569
マシンツール	3,566	1,234	378	1,716	536	424	8	7,866
報告セグメント計	10,932	71,754	30,272	7,390	1,653	9,840	1,591	133,436
その他	2,722	—	3	—	—	—	—	2,725
合計	13,654	71,754	30,276	7,390	1,653	9,840	1,591	136,161
構成比(%)	10.0	52.7	22.3	5.4	1.2	7.2	1.2	100.0

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

参考資料

2022年3月期 第2四半期決算発表

2021年11月8日

株式会社 F U J I

(コード番号 6134 東証・名証第一部)

1. 当期の連結売上高・収益の第2四半期連結累計期間実績と通期予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
第2四半期連結累計期間実績	72,558	2.7	14,762	29.4	15,241	25.8	11,165	28.6
通期予想	151,000	10.9	30,200	37.9	30,800	32.6	22,600	31.6

2. 当期の連結受注高・売上高の第2四半期連結累計期間実績と通期予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(百万円未満切捨)

セグメントの名称	受注高		売上高	
	第2四半期連結累計期間実績	通期予想	第2四半期連結累計期間実績	通期予想
ロボットソリューション	72,844	139,000	67,891	139,500
マシントール	4,995	11,000	3,578	8,500
その他	1,624	3,000	1,088	3,000
合計	79,464	153,000	72,558	151,000

3. 当期の主な科目の第2四半期連結累計期間実績と通期予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(百万円未満切捨)

科目	第2四半期連結累計期間実績	通期予想
設備投資額	4,863	11,000
減価償却実施額	3,629	7,800
研究開発費	4,097	8,400